

住民のための の市政を！！

ごうつ民報

日本共産党江津市委員会
 電話 52-2633
 FAX 52-7244
 NO. 2390
 2020年3月1日

江津市議会 3月定例会

2020年度 一般会計・特別会計予算案

総額 217億158万円

3月2日開会の江津市議会3月定例会へ、山下修市長が提案する2020年度当初予算案の内容が、市議会の全員協議会で示されました。

前年度比

3億3032万円増

2020年度の一般会計・特別会計予算案として示された総額は217億158万円です。2019年度と比較して全体で3億3032万円の増額となっています。下表参照。これは一般会計での3億1600万円増がほぼそのまま反映された金額ですが、一般会計は19年度の時点で新庁舎建設費により、2018年度比で20億円の増となっており、新庁舎建設やその関連事業が続く20年度は、高止まりしている状態と言えます。

新庁舎建設費

19億9148万円

シビックセンターゾーンで建設工事が進む江津

防災無線デジタル化

3億5483万円

防災無線のアナログ波からデジタル波への変更への事業費3億5483万円も、19年度に続いての計上です。

地域医療支援

3億1119万円

地域医療支援対策事業として3億1119万円が計上されています。公的病院である済生会江津総合病院と西部島根医療福祉センター（整肢学園）などへの補助金で構成され、公的病院支援事業2億1668万円、地域医療施設整備事業5600万円、産科医等確保対策支援事業1933

またこれとは別に、新庁舎関連対策事業として1億1293万円も計上。新庁舎完成後に分庁舎や桜江支所とのネットワークを構築するためのもので、光ファイバーの布設やサーバ室の整備を行うとしています。

なお、新庁舎の完成予定は2021年3月末となっています。

万円、地域医療拠点病院支援事業1918万円となつていきます。なお、配分は済生会が2億9919万円、鳥取大学が1000万円、整肢学園が2000万円です。

市の顔に相応しい整備を行うとして1億5638万円が計上されています。具体的には蛭子北（嘉久志町）での開発にあわせての道路整備や江津駅前での公共駐車場整備が行なわれます。

市街地整備事業

1億5638万円

当初予算案は2日の市議会本会議で提案され、12日からの予算委員会で審査される予定です。

2020年度予算総括表 単位:千円 (全協資料より)

会計別	2020年度 当初予算案	2019年度 当初予算額	比較増減	増減率 (%)	
一般会計	16,555,000	16,239,000	316,000	1.9	
特別会計	国民健康保険事業	3,178,053	3,093,389	84,664	2.7
	国民健康保険診療所事業	2,376	3,340	△964	△28.9
	後期高齢者医療事業	796,261	735,592	60,669	8.2
	公共下水道事業	893,611	990,196	△96,585	△9.8
	農業集落排水事業	276,279	309,735	△33,456	△10.8
	小計	5,146,580	5,132,252	14,328	0.3
合計	21,701,580	21,371,252	330,328	1.5	

日本共産党市議団の一般質問

江津市議会3月定例会では6・9日に一般質問が行われます。

党市議団の多田伸治市議は9日(月)13時から「被災家屋の解体補助」老朽化した市営住宅、森川よしひで市議は9日(月)14時から「新型コロナウイルス対策」第6次総合振興計画」を取り上げます。

議場で傍聴できるほか、CATVでも放送されます。傍聴を希望される方は議会事務局(0855-527498)へお問い合わせください。

悩み・困りごと
ご相談ください

森川よしひで
090-7379-1554
多田伸治
090-6014-2259

江津市議会 3月定例会 市長20件の条例案を提案へ

2月21日、江津市議会全員協議会が開催され、市長が3月定例会へ提案する条例案20件について、説明がありました。そのうちの6つの条例案についてお伝えします

市民生活に 直接影響する条例案も

●2020年3月末で金田ふれあいセンターを廃止する条例案
公民館の廃止と地域コミュニティでの1組織1センター

●2020年3月末で金田ふれあいセンターを廃止する条例案
公民館の廃止と地域コミュニティでの1組織1センター

との原則から、3年間の激変緩和措置として設置されていた金田ふれあいセンター(旧金田公民館)を廃止するものです。
ただ、地域の避難所でもあり、住民の意向を踏まえた判断が必要です。
●防災無線戸別受信機の設

置費用補助を2022年度まで延長する条例案
防災無線のデジタル化が進んでおり、各戸に設置される受信機について、改めて費用の補助(1/2)を延長する条例案です。
これまでの答弁では、すでに戸別受信機が設置されている世帯には、デジタル対応の受信機を無料で配布するとしており、その確認が必要です。また、設置費用の1/2の補助で3割程度にとどまっている普及率を向上させることができるかが問われます。

●江津市消費生活センターを設置する条例案
これまで市役所総務課で年間約100件の相談を受けていましたが、改めて消費生活センターを設置するためのものです。
説明では、電話だけでなく窓口での対応もできる含めて相談者への対応の向上が求められます。
●市職員の時間外労働についての条例案
「働き方改革」による法定外労働(残業)の上限

を定める条例案です。通常時の残業時間を月45時間・年360時間までとし、臨時的特別な事情がある場合には、月100時間未満・年720時間以内・2〜6カ月での平均80時間未満・月45時間超は年6カ月までと規定。さらに大規模災害時などの場合は、この上限を超える残業が可能とされています。
この条例案では、法規で可能とされる上限を設定していますが、この上限は厚労省が脳卒中や心臓病について、業務と発症との関連性が強いと評価できる」とした時間と合致しています。しかも、災害時などはこれを上回る残業を可能としており、形だけの「働き方改革」にはなりません。

●新庁舎移転を踏まえ市役所の機能を改編する条例案
2021年3月末完成予定の新庁舎での業務を行う上で、市民の利便性の向上や分庁舎への配置の都合などから、市役所内の課・係などを改めるものです。
新庁舎では市民サービス窓口を1階(集中し)、サービス向上を図るとされています。た

国会審査の花形とされる衆議院予算委員会の質疑が「ささんでいる」とは、2月16日付の山陰中央新報「論説」の冒頭部分です。
記事は、衆議院予算委員会の質疑において、安倍首相が野党側の質問にまともに答えずとしない上に、野党議員へ攻撃的な発言や野次を繰り返したと、さ

答弁も拒否し、国民に約束した説明責任すら果たしていません。挙句に「募っていたが募集はしていない」契約ではなく合意など、日本語とは異なる言語を発して逃げ回ります。さらには、意味のない質

問だ」との野次です。12日の衆議院予算委員会では憲民主党の辻元議員が質問を終えた直後、安倍首相が自席から発しました。日本国憲法では、内閣は、行政権の行使について、国会に對して「責任を負ふ」とさ

加えて、安倍首相は「桜を見る会」前夜祭について、明細書は受け取っていない」とホテルからもらった宛名のない領収書を参加各人に渡した」と述べています。17日の予算委員会

また、その対策本部の会議は2月20日までに11回開かれていますが、メディアの「首相動静」によると安倍首相の出席は1回平均12分程度。死者が確認された14日は8分、16日は冒頭の3分のみです。首相、閣僚への不信が募るばかりです。

だ、部署によっては遠く離れた分庁舎に配置されるものもあり、市民が利用する際、総合窓口を設置するなどして、移動を強いることのない対応が必要です。また、今後1年は現庁舎での業務が続きます。その間も市民サービスが向上するのかが課題と言えます。
●高齢者創作館を廃止する条例案
桜江町の川戸と大貫にある高齢者創作館を廃止するものです。
高齢者創作館は1988年に設置されたものの、長く使用されない状態で、今後も使用予定がないとして提案です。
しかし、こういった経緯で使用されなくなつたのか、市民が使用するための促進を図ってきたのか、使用に耐えるだけの管理がされていたのか、廃止に対する地域住民の意向など、確認すべき点があります。

首相・閣僚の劣化極まる

実際に、安倍首相は「桜を見る会」の私物化疑惑で資料も出さず、まともな

から発しました。日本国憲法では、内閣は、行政権の行使について、国会に對して「責任を負ふ」とさ

加えて、安倍首相は「桜を見る会」前夜祭について、明細書は受け取っていない」とホテルからもらった宛名のない領収書を参加各人に渡した」と述べていま

また、その対策本部の会議は2月20日までに11回開かれていますが、メディアの「首相動静」によると安倍首相の出席は1回平均12分程度。死者が確認された14日は8分、16日は冒頭の3分のみです。首相、閣僚への不信が募るばかりです。

新庁舎では市民サービス窓口を1階(集中し)、サービス向上を図るとされています。た

お悔やみ申しあげます
敬称略

21日	青木 榮子	92	浅利 町
22日	森脇 直子	85	金田 町
23日	階本 長市	93	桜江町大貫
26日	森巴	90	嘉久志町